



2022年3月21日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース第64号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. アフリカカカオ：全体的に西アフリカの雨は回復傾向に(3/15)

西アフリカのカカオ生産者は、この地域に雨が戻ってきており、4月に始まるミッドクロップの収穫に恩恵をもたらすだろうと述べている。

コートジボワール南西部の Grand-Zattry のカカオ農家 Gued Nahounou 氏は、「木々の呼吸が良くなり、数週間後に受粉し、そしてカカオポッドに変わる花を咲かせ始めた兆候がある」と語った。「もうすぐメインクロップシーズンの収穫が終わろうとしています。

世界トップのカカオ生産国であるコートジボワールは、今シーズンも、2020-21年シーズンに輸出した豆の記録的な量に近い出荷を続けている。これまでに同国の港に到着したのは179万トンで、1年前の172万トンと比べても多いペースだ。

生産者は最後のカカオ在庫を売ろうとしていると、西部の町ゲサボの生産者、イシカ・ウドラオゴは語った。道路が冠水し、地域の買い付け拠点への豆のトラック輸送ができなかったため、販売が遅れているそうだ。

世界第2位の生産者であるガーナでは、同国からのカカオ供給が乾燥した天候のために大幅に減少しているとの予測から、ニューヨークのカカオ先物価格は2月に1トンあたり2,838ドルと2年ぶりの高値に急騰しました。その後、現在は2,554ドル程度まで下落しましたが、例年より多いミッドクロップが潜在的な不足を緩和する可能性が期待されています。

カメルーンの主要生産地域の一つである南西地方では、予想より早く雨が降り始め、今週いっぱい降る見込み。同国の生産者は現在、豆の品質や肥料などの農業投入物に対する政府の補助金が明確になるのを待ってから、新しい木の植え付けに取り掛かろうとしています。

ナイジェリアでは、農家は再開された雨が豊作につながることを期待していると、エド州の農家、アボセデ・アゲド氏は述べました。

2. ガーナ及びコートジボワール首脳から欧州議会への表明内容(3/2)

ガーナココボッドからの3月2日付のプレス発表によると、2022年2月18日、ガーナおよびコートジボワールの首脳は欧州議会議長と会談し、多くの零細農家の収入に悪影響を与えることを考慮せずに現在提案されている森林破壊法がこのまま採択されれば、両国のカカオ農家の貧困が拡大する恐れがあることについて、下記の懸念を表明した。

両首脳は、持続可能性とカカオ農家の生活条件改善へのコミットメントを改めて表明した。

- 最悪の形態の児童労働と森林破壊がカカオ農家の生活状況に関連していることを認識し、この状況の根本的な原因を克服するための課題に取り組むよう努力する。
- 国際労働機関（ILO）第182号条約に基づき、児童の安全を確保し、最悪の形態の児童労働と闘う努力を継続することを約束する。
- 森林破壊と闘い、カカオ生産で失われた森林の回復に投資することにより、環境を保護することを約束すること。
- 生産者の収入、ひいてはカカオの価格が持続可能性の決定要因として考慮されるよう要請すること。このように、両首脳は欧州連合、消費者、カカオ産業の様々な関係者は、両国が共同で開始し、業界が歓迎している生活所得格差（LID）メカニズムを強化、定着させる。
- この目的のため、両首脳は本日、欧州連合に対し、持続可能な開発の3本柱（経済、社会、環境）のバランスをとるため、持続可能なカカオのための経済協定に合意することに参加するよう要請する。
- 両首脳は、持続可能なカカオのバリューチェーンのために、また、サブリージョンにおけるすでに不安定な安全保障環境の中でカカオ農業に伴う貧困を回避するために、欧州連合とのパートナーシップの展望を歓迎するものである。



PRESS RELEASE – 18th February 2022

Today, February 18, 2022, the Heads of State of Ghana and Côte d'Ivoire met with the President of the European Parliament and expressed their concerns about the risk of increasing poverty among cocoa farmers in both countries if the current proposed Deforestation legislation is adopted as it is without considering the adverse impact it will have on the income of the many smallholder farmers.

The two Heads of State reiterate their commitment to sustainability and improving the living conditions of cocoa farmers:

- Recognize that the worst forms of child labor and deforestation are linked to the living conditions of cocoa farmers, and strive to address the challenges that will help to overcome the root causes of this situation;
- Commit to ensuring the safety of their children and to continuing their efforts to combat the worst forms of child labor in accordance with International Labor Organization (ILO) Convention 182;
- Commit themselves to protect the environment by fighting deforestation and investing in the restoration of forests loss to cocoa production;
- Request that the producer's income and therefore the price of cocoa be considered as the determining factor of sustainability. Thus, the two Heads of State invite the European Union, consumers and the various actors of the cocoa sector to strengthen and consolidate the Living Income Differential (LID) mechanism jointly initiated by our two countries and welcomed by the industry.
- To this end, the two Heads of State today call on the European Union to join them in agreeing on an Economic Pact for Sustainable Cocoa in order to balance the three pillars of sustainable development (Economic - Social and Environmental).
- The two Heads of State welcome the prospects of a partnership with the European Union, for a sustainable cocoa value chain and to avoid poverty being associated with cocoa farming in an already volatile security environment in the sub-region.

3. ガーナのカカオ産業について Business Insider 動画(3/20)

ガーナのカカオ産業についての特集動画。弊社取引先の Niche cococa Industry や Fair Afric Chocolate Ghana も取材されておりますのでお時間ある方はご覧ください。生産性の低さや L I D についての説明、現地でのチョコレート製造の発展や難しさについての内容となっています。*Face Book movies

<https://www.facebook.com/watch/?v=505572901109883>

4. ガーナの1~2月の貿易黒字は6.4%減の4億500万ドル(3/20)

ガーナ銀行がウェブサイトに掲載した経済・金融データの概要で、1-2月の貿易黒字は2021年の4億3270万ドルから減少したと発表した。期間中の総輸出は26億ドルから27億4000万ドルに増加、輸入は21億6000万ドルから23億3000万ドルに増加した

金の輸出は9億3120万ドルから8億8520万ドルに減少、カカオは7億140万ドルから5億9700万ドルに減少、石油は5億1020万ドルから6億8900万ドルに増加した。

2月末の総国際準備高は95億ドルで、前年同期の87億ドルから増加

同国の財政赤字は、前年の国内総生産（GDP）比11.7%の不足から、2021年末には9.7%に減少したと報告されている。この数字に、金融部門の浄化や独立発電業者のレガシーコストが含まれるか含まれないかは明らかにされないままである*注

公的債務総額は、2020年末の2916億セディ（GDP比76%）から、昨年末には3518億セディ（GDP比80.1%）へ増加。銀行の年間貸出金増加率は、前年同月の3.6%から2月には18.3%に上昇。不良債権は15.3%から14.4%に緩和された。

携帯電話の月間取引額は、前年同月の671億セディから2月には762億セディに増加

*注）ガーナの2021年の財政赤字目標は、金融セクターの浄化とIPPのレガシーコストを含めるとGDPの12.1%、それらを除くと9.4%

5. カカオ相場見通し (HightTower 社) (3/18)

ロシアのウクライナ侵攻が欧州の需要見通しに影響を与え、中国のCOVIDロックダウンの拡大がアジアの需要見通しに影響を落とすなど、目先の需要見通しへの懸念が続いており、先週のココア市場にも重石がのしかかった。欧州の株式市場はまちまちの結果となったが、3/18日は米国株が回復基調を強め、北米の目先の需要見通しを押し上げた。また、ユーロ通貨と英ポンドの反発も支援材料となり、カカオ相場は序盤の安値を大きく上回った。最近の出来事を受け、期待は後退するものの、今シーズンの世界総粉砕量は500万トンを超え、過去最高となる見込み。一方、今シーズンの世界のココア生産量は27万トン以上（5.2%減）減少する可能性があります。その結果、2021/22年の世界のカカオ在庫/使用量は1984/85年シーズン以来の低水準に達する可能性があります。一般的には、供給不足から強気な展開のはずであるが、ロシア-ウクライナ問題が生じた事でカカオ市場の需要面に対する懸念が引き続いており、相場は下落傾向である。

6. コートジボワール新物、3/7-3/13の週間着荷数量は40,362トン(3/21)

政府のデータに詳しい人物によると、コートジボワールの生産者は先週、40,362トンのカカオを港に出荷した。前年同時期の数量は30,182トンであったので現在港への着荷は増えている。10月1日のシーズン開始からの総着荷数量は、約179万トンとなっており、過去最高であった昨年同時期の172万トンも上回る数字になっている。

下記は、同国内のカカオ豆の買受先の一覧である。最大の買い手は、バリーカレボーのグループ企業であるSaco社や、Olam Internationalの関連企業であるOutspan, やCargillなどの企業である。

以下は、10月1日から3月13日までの上位各社の購入量（単位：トン）の表である。

会社名	購入数量(トン)
カーギルグループ	254,793
アウトspan(オーラムグループ)	203,910
Saco社(バリーカレボーグループ)	188,049
Touton社	120,044
S3C社	115,454
その他企業	907,729
合計	1,789,979

7. 明治HDやアサヒグループHDからのフードテックファンドへの出資(3/18)

株式会社SDGインパクトジャパンと、シンガポールのベンチャーキャピタルAgFunder Asia Pte Ltd. はアグリテック及びフードテックに投資するインパクトファンド「AgFunder SIJ Impact Fund」の明治ホールディングス株式会社とアサヒグループホールディングス株式会社により総額10億円の出資を受けファーストクローズをしました。本ファンドでは持続可能な食糧システムを実現する可能性を持つ優れたスタートアップをグローバルに発掘し、投資を致します。また、日本の農業食品分野のスタートアップ企業と海外の投資家とのマッチアップ、海外スタートアップ企業の日本における事業展開等の支援も行っていきます。

株式会社SDGインパクトジャパン（共同代表取締役：小木曾 麻里、Bradley Busetto、以下「SIJ」）[1]と、シンガポールのベンチャーキャピタルAgFunder Asia Pte Ltd.（代表者：John Friedman、読み方：アグファンダー）は共同にてアグリテック及びフードテックに投資するインパクトファンド「AgFunder SIJ Impact Fund」のファーストクローズをしたことのお知らせします。ファイナルクローズは2022年12月の予定で、最終的なファンド規模は30～50億円を見込んでおります。

今回のファーストクローズでは、明治ホールディングス株式会社とアサヒグループホールディングス株式会社より総額10億円の出資を受け入れることとなりました。

農業・食品分野の持続可能性はSDGsの実現の中でも特に重要な課題となります。本ファンドでは、AgFunder ニュースや年次統計、報告書の発行を通じてアグリフード業界においてグローバルのリーダー的地位にあるAgFunderがSIJの協力を受けて、特に日本との関連性が高く、成長性も高い技術を持つスタートアップに優先的に投資致します。また、SIJの参画により、日本の農業食品分野のスタートアップ企業と海外の投資家

とのマッチアップ、海外スタートアップ企業の日本における事業展開等の支援も行っています。本ファンドは、CO2 排出やフードロスの削減、土壌や作物のモニタリングの改善、バイオ、デジタルを通じた効率化など、持続可能な食糧システムを実現する可能性を持つ優れたスタートアップに投資を致します。

* 出典及び詳細の情報は下記より

<https://www.jiji.com/jc/article?k=000000003.000091539&g=prt>

8. ナイジェリア、メインクロップ・カカオ豆の在庫が終わったが、豆の不足が続く (3/17)

ナイジェリアではカカオが不足していると、業界関係者やトレーダーが水曜日に発表しました。南西部オヨ州の州都イバダンのトレーダー、ビンボ・アデトゥンジ氏は、2021-22年のメインクロップのpカカオ作物の収穫は2月中旬に終了したが、今は在庫してあったカカオが市場に出回り、販売は続いていると述べた。

同氏によると、昨年6月に1トンあたり80万~85万ナイジェリアナaira (1,950ドル前後)だった価格が、2月には120万ナイジェリアナaira (2,875ドル)まで上昇したため、価格上昇を見越してカカオを貯蔵していた農家などが実際に利益を上げることができたという。

メインクロップの収穫は9月に始まったが、2021年の最後の四半期に大雨が降り、特に南東部で洪水や病気の発生が発生したため、収穫が妨げられたと彼は付け加えた。

「カカオの収穫量と品質が低いため、いくつかの商人や輸出業者が市場から現在は撤退しており、彼らはミッドクロップの収穫が始まるのを待っている。貯蔵されていたカカオ豆が最後に市場に出回っています」とアデトゥンジ氏は言います。

池や川の近くでカカオを栽培している生産地域では、ある程度の豆が手に入る一方で、売るためのカカオがなく、ミッドクロップの収穫が始まるのを待っている州もあるようです。

例えば南西部のオヨ州では、カカオが不足しており、今週は今のところカカオの価格を提示していないとのこと。「オヨ州ではカカオが非常に不足しており、今のところカカオの価格は決まっていません」とイバダンの協同組合生産物販売組合のマネージャー、アキン・オモタヨは述べています。

オヨ州やナイジェリアの他のカカオ生産州では新しい雨が降り、ミッドクロップのカカオの収穫が来月から本格的に始まる可能性がある、あるトレーダーは述べています。

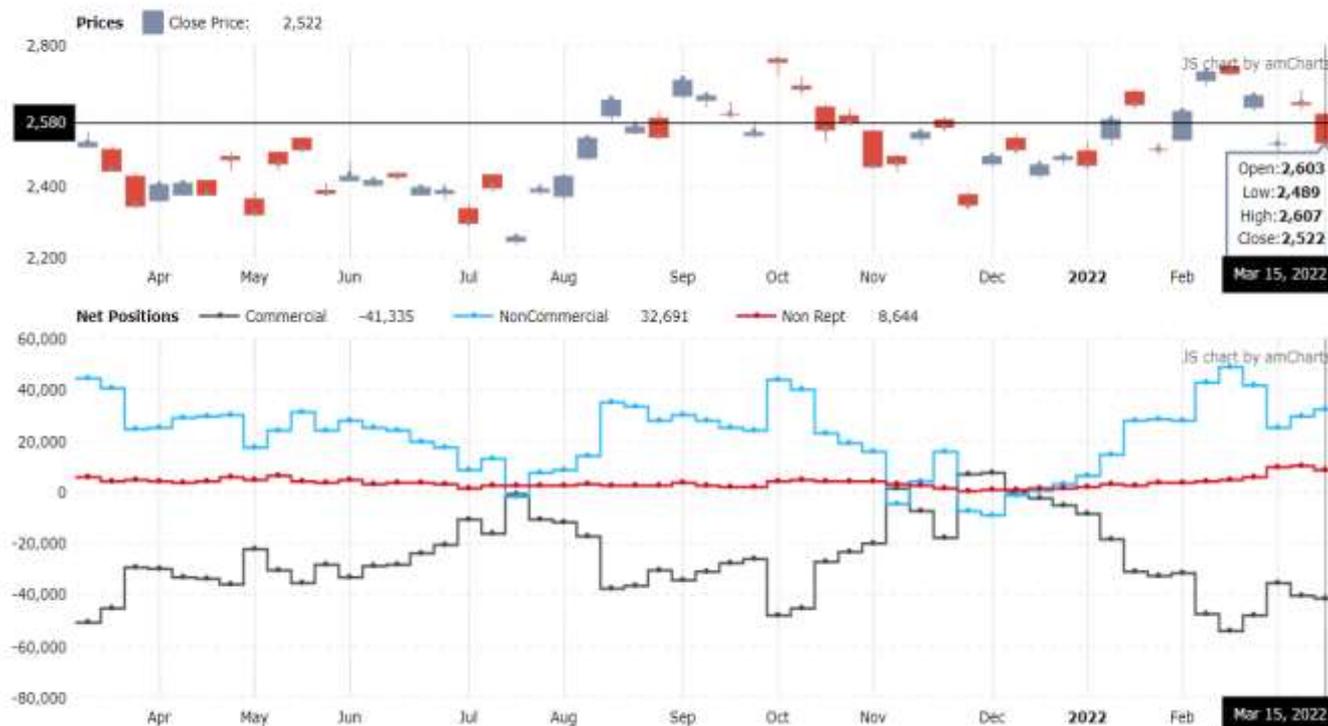
ミッドクロップはナイジェリアでは1シーズンに2回あるカカオの収穫のうち2回目です。ナイジェリア・ココア協会によると、この収穫は通常、同国の年間のカカオ生産量の25-28万トンの約30%を占めるといふ。

9. ファンド勢のNY先物は純買い越しポジションを増加(3/19)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋(Managed Money)は今週、純買い越しポジションを1,577ロット増やし、25,492ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、3月15日)の取引が含まれている。

- 純買いポジションの数量は過去3週間で最も多い。
- 総買い数量は **435 減少** (先週は **385 増加**) し、**55,215 ロット**となった。
- 総売り数量は先週より **2,012 ロット減少** (先週は **8,645 ロットの増加**) し、**29,723 ロット**となった。

Prices & Net Positions



10. 投機筋、ロンドン先物は純買い越しポジションが増加。(3/19)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを **6,311 増加** させ (先週は 1,859 ロット の減少)、18,810 ロットとなったことが、ICE 欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、3月15日) の取引が含まれている。

- 純買いポジションの総量は過去3週で一番多い数字
- 買いポジションの総量は3月15日までで、前週より173減少し (先週は3,731ロット減少) し、30,339ロットとなった。
- 売りポジションの総量は3月15日までで、前週より6,484減少 (先週は1,872ロット減少) し、11,529ロットとなった。売りポジションのみの筋は過去1か月で一番少ない数字。

参考資料) LDN 市場の全プレイヤーのポジション一覧の分析

Commitments of Traders		Futures only								
ICE Futures Europe										
15/03/2022										
MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money			
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading	
15/03/2022	266408	158905	177525	28050	40195	14940	27768	12116	10961	
Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader										
15/03/2022	100%	59.6%	66.6%	10.5%	15.1%	5.6%	10.4%	4.5%	4.1%	
Number of Traders in Each Category										
15/03/2022	129	48	38	12	8	10	20	19	14	

11. トレンド情報：「felissimo chocolate museum」 企画展

『6 Essences - チョコレートを表現する 6 人の知覚 -』 4 月 1 日開催

株式会社フェリシモ（代表取締役社長：矢崎和彦、本社：神戸市中央区）が展開する「felissimo chocolate museum」では、2022 年 4 月 1 日（金）から新たな企画展『6 Essences - チョコレートを表現する 6 人の知覚 -』を開催する。

本ミュージアムは、昨年 10 月、フェリシモ本社オフィスのある「Stage Felissimo」内に開館した。世界のチョコレートやカカオに関する歴史や文化、ファッションやアートなどの多様な面にフォーカスすることで、チョコレートの多様性・可能性を発信することをモットーとしている。

本展示では、日本を代表する 6 人の著名なショコラティエ・カカオプロデューサーの「チョコレートづくりに欠かせないエッセンス」を紹介する予定だ。



写真左から、三枝 俊介 (CHOCOLATIER PALET D' OR)、吉野 慶一 (dari K)、
辻口 博啓 (LE CHOCOLAT DE H)、土屋 公二 (Musée Du Chocolat Théobroma)、
小山 進 (PATISSIER eS KOYAMA)、才村 由美子 (Yumiko SAIMURA)

～世界中の人たちが大好きなチョコレート。日本ではこの約20年の間にフランスやベルギー、イタリアなどヨーロッパを中心とした国々の専門店が出店し、世界のチョコレートが味わえるようになった。同時に国内ブランドの台頭も目立つ中、素材を生かした繊細なものづくりの得意な日本のショコラティエたちのチョコレートは、ヨーロッパの人々の舌をも唸らせている。また、近年はチョコレートの原材料となるカカオやそれを生産する国々や人々にまで関心が及ぶようになった。本展では、このようなある意味過渡期とも言えるチョコレートの世界で活躍する「チョコレートづくりに欠かせないエッセンス」を紹介する。～

*説明および写真は下記プレスリリースより

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000002486.000012759.html>

*ウェブサイトはこちら

<https://feli.jp/s/pr220322/2/>

<https://www.felissimo.co.jp/chocolatemuseum/event/>

*来館事前予約とチケット購入はこちら

<https://feli.jp/s/pr220322/1/>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。